

令和 5(2023)年度 事業報告書



令和 6 年 5 月 25 日

認定 NPO 法人 芦屋市国際交流協会

1. 潮芦屋交流センター施設（貸室、貸コート）運営事業

	2023年度利用実績金額		実利用者数比較		利用率(%)比較	
	(単位:円)	予算比(%)	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
[施設賃貸事業収入合計]	15,545,886	98%	129,758	56,937	68	68
・集会所(1階)	2,720,900	113%	18,931	13,285	55	50
・国際交流センター(2階)	4,316,610	117%	91,165	25,257	40	36
・テニスコート	5,929,920	88%	19,662	18,395	83	88
・付属設備利用料	588,120	101%	-	-	-	-
・駐車場利用料	1,650,300	83%	-	-	-	-
・自販機収入	292,126	117%	-	-	-	-
・一般コピー売上	47,910	240%	-	-	-	-

5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり利用制限が緩和されたことで貸室の利用者数、稼働率が大きく伸びた。一方、テニスコートは一般利用のテニススクールの生徒減による影響で利用率と売上げが縮小した。

2. 語学・俳句教室事業

1) English Reading Salon・英語・英語絵本童話朗読・親子英語・小学校英語教育勉強会・英会話・スペイン語・俳句教室。

2023年度は全18クラス(受講生93名)で開始した。2022年6月にスタートした小学校英語教育勉強会は5月で全10回を終了して閉講し1クラス減少したが、広報あしやに募集を掲載したことで年度末には98名に増員した。金曜日英語クラスは4月から講師を植田伸子先生に交代した。

	講師名	曜日	場所
English Reading Salon	戸田 博子	木AM	大原集会所
		木PM	ラ・モール芦屋 203号
英語	植田 伸子	金	潮芦屋交流センター
	御園生 寛子	金	
英語絵本童話朗読	中本 幹子	木/月1回	
親子英語	平岡 綾子	隔火	
小学校英語教育勉強会	中本 幹子	全10回	
英会話	John Dix	木	ラ・モール芦屋 203号
	Stephen Donald	木	潮芦屋交流センター
	Mathew Glen Boyd	金	
	John Dix	火	
		木	
	Stephen Donald	月AM	
		月PM	
	Mathew Glen Boyd	金	
スペイン語	Marco Vinicio	木	ラ・モール芦屋 203号
俳句教室	石川 多歌司/戸田祐一	水/月1回	

3. 姉妹都市交流事業

1) 第 57 回姉妹都市学生親善使節交換事業

4 年ぶりに姉妹都市交流事業を再開すべく新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら進め、5 月の 5 類への移行確定をうけて、募集から SA 選抜決定までを短期間で行った。再開を待ち望んでおられたのか学生親善使節のみならずホストファミリーにも多くの応募があった。選抜決定前に「さくらまつり」が開催されたため、オープニングステージでの SA 紹介は叶わなかったが、J-com で SA 事業の特集を組んで放映されたことで事業再開を広く市民に周知できた。

＊派遣使節（期間：7/27～8/18）

- ・花嶋 あいら（高校 2 年・女子）
- ・坪田 匠（高校 1 年・男子）

＊受入使節（期間：7/21～8/10）

- ・アレハンドロ・ルイス（大学生・男子）
- ・アンドレア・ルイス（大学生・女子）

＊ホームステイ状況

芦屋市の学生親善使節の家庭でモンテベロ市の学生親善使節 1 名ずつを 1 週間受け入れるとともに、一般市民からホストファミリーを 4 家庭募り、各家庭にモンテベロ市の学生親善使節 1 名ずつのホームステイを約 1 週間引き受けて頂いた。

＊実施した主要行事

- ・サマーカーニバルで花火鑑賞（7/22）
- ・市長・議長・消防署長・警察署長表敬訪問、華道体験、歓送迎会（7/24）
- ・能体験、市内観光（7/25）
- ・芦屋学園で茶道体験（7/28）
- ・ハワイアンコンサートで紹介（7/30）
- ・浜風小学校訪問（7/31）
- ・山手中学校 E S S 訪問（8/1）
- ・広島ツアー（平和学習）（8/2）
- ・書道体験、さよならパーティー（8/8）
- ・帰国報告会（9/3）

＊ホストアンバサダーに 12 名を選任し、交流行事にホスト役として積極的に参加してもらい、交流活動の活性化を図った。また、浜風小学校と山手中学校を訪問して先生方、児童及び生徒の保護者と親交を深める事ができた。期間中の参加人数は延べ 773 名であった。

4. 外国人支援事業

1) 日本語教室事業

大人対象の学習者延べ人数は北教室 169 人、潮芦屋交流センター 737 人。こども教室の児童数は 8 名で延べ学習者数は 171 人であった。

クラス名	曜日	場所
日本語教室(大人対象)	火	ラ・モール芦屋203号
	金	
	月 (AM/PM)	潮芦屋交流センター
	火	
	木	
	土	
こどものための日本語教室	土	

2) 外国人のための文化教室

華道教室 9 回、書道教室 8 回、茶道教室 11 回を開催した。

茶道教室は、芦屋大学から依頼を受けて、6 月と 11 月に留学生合わせて 10 名（韓国 4 名、中国 4 名、ベトナム 2 名）が体験した。1 月には昨年度同様に着物姿で生田神社の初釜に参加した。

3) 日本語ボランティア養成講座

今年度は不開催。

4) 日本語ボランティアブラッシュアップ勉強会

今年度も 2 回開催した。1 回目は 2 月に参加者 17 名で情報交換をして実りのある内容であった。2 回目は 1 回目の情報交換の内容を受け、3 月に外部講師による講座を開催し参加者は 17 名。市内の他日本語教室にも呼び掛けて公民館、ココカラ各 2 名の参加があった。

5) やさしい日本語講座

兵庫県国際交流協会（HIA）からの無料講師派遣事業を利用して 2 講座、9/8「災害編」（参加者 15 名）と 10/23「会話編」（参加者 11 名）を開催し、両講座とも、参加者からは現場で役立つ内容だったと大変好評であった。

6) 外国人向けの防災イベント・災害時の外国人支援セミナー

芦屋警察警備課に防災講習をして頂いた。多言語（英語・中国語、タガログ語、タイ語、韓国語）による防災しおりの配布もあった。参加者は日本語教室学習者・ボランティアと外部者合わせて 36 名。

7) コスモネット THE COSMONET

1997 年からスタートしたこの事業は「広報あしや」を英訳し、印刷、登録外国人への発送等の一連の活動をボランティア担当者 5 名(ネイティブの校正含む)で、毎月約 110 部を発行、3 月末の 320 号を最後に 27 年の長い活動に幕を閉じた。

この場を借りて、活動を支えて下さった様々な方々にお礼申し上げます。

8) コスモジャーナル

2019 年度より隔月に発行する外国人向け情報として「広報あしや」をやさしい日本語と英語に訳し、市内 6 か所に配架。3 月末迄で 27 号を発行した。

9) やさしい日本語での防災関連記事の HP 掲載

「広報あしや」に掲載された防災関連の記事を「やさしい日本語」に翻訳し、ACA 及びセンターの HP に掲載して外国人向けの防災周知を図った。

10) 文化祭

「夏の文化祭」を 7 月に開催し、図書館の子ども司書 8 名による「絵本の読み聞かせ」をしてもらい NHK の取材を受けた。38 名（内、外国人 14 名）が参加した。こくさいひろば芦屋からも 2 名の参加があった。

11) 施設見学（バス旅行）

日本の四季を感じてもらおうと、11 月に有馬の紅葉狩りへ 9 名が参加した。

5. 神戸大学海事科学研究科への日本語出張講義

前期（5/11～6/29）全 8 回、後期（10/26～12/21）全 8 回は、レベルの差やニーズに応じたマンツーマン授業を対面で実施した。

6. 作って食べよう世界の料理教室

「シリア編」「コスタリカ編」「スペイン編」「ブラジル編」「アルメニア編」「バスク編」「カーボベルデ編」「日本編」「タイ編」「中国編」の 10 回（定員 25 名/回）を開催し、計 220 名の参加があった。

7. 各種イベント事業の実施

1) 多文化共生講演会

フランス人落語パフォーマーのシリル・コピーニ氏による「RAKUGO&仏蘭西」を 9 月に開催し、46 名参加。

2) 潮芦屋セミナー

3 回開催した。

5 月： 4 回目となる桂福丸師匠による「英語落語」70 名参加。

11 月： カナダ人講師マーク・フィールデン氏による「日本在住カナダ人から見たカナダの魅力」65 名参加。

2 月： 前スウェーデン日本国大使夫人の廣木麻美子氏による「女性が輝くスウェーデンから何を学ぶか」67 名参加

3) 潮芦屋コンサート

3 回開催した。

- 6月： アルパデュオソソリーサによる「アルパコンサート」118名参加。
7月： ワイキキ72とカイオロヒアによる「ハワイアンコンサート」144名参加。
12月： 緑ゆみ子氏他による「クリスマスJAZZコンサート」123名参加。

4) ACAかわらばん

春号、夏号、秋号、新春号の4回を発行した。
収支改善のため、広告掲載料の協力を得ながら、紙面を見やすく、楽しめるようカラー化を継続した。各委員会から選任されたメンバーによる「かわらばん委員会」で掲載記事を検討し、原稿の校正等を行った。

5) さくらまつりでのバザー

「芦屋さくらまつり」が2日間開催から1日に、それに伴い規模も縮小されたため、参加を見送った。

6) ワールドフェスタ

デザートタイムにあわせるべく時間を2時間ずらして1時30分開始で「世界の料理」だけでなく外部の出店ブースを募りこれまでと形式を変えて4年ぶりに開催した。出店はミャンマー、スリランカ、豊中の焼き菓子専門店に加え、ACAからはバザーを出して好評であった。

7) 30周年記念誌

2023年の芦屋市国際交流協会設立30周年を記念して記念誌の製作を開始した。発行は2024年7月を予定。

8) 60周年記念事業「レシピ本発刊」

2022年3月に発刊した本は順調に販売が進み、5月には朝日新聞に掲載されたことも手伝って全国大手書店とインターネット書店の販売は完売した。

8. 他団体の各種イベントでの共催について

- ・「Let's Dance for World Peace」11/5 CID-UNESCO

9. 各種イベントでの他団体への後援・協力・支援について

- ・駐日トルコ共和国大使館へ大地震救済義援金として一般からの募金7,136円を含む合計3万円を送金。
- ・「耕三の会」、「芦屋能 狂言鑑賞の会」後援
- ・潮見小学校町探検「潮芦屋交流センター案内」(11/24) 協力
- ・芦屋市主催「乳ガン健診実施」(1/20) 協力
- ・潮見小学校4年生社会科授業「国際交流について」(3/4) 講師に国際事業委員長を派遣協力

10. 総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・ 定例総会（5/25）・・・・・・・・・・・・・・ 1 回
- ・ 理事会（5/25、3/30）・・・・・・・・・・・・・・ 2 回
- ・ 常任理事会・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 回
- ・ 専門委員会の開催
 - 外国人支援委員会・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 回
 - 国内事業委員会・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 回
 - 国際事業委員会・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 回

11. 会員数（3/31 時点）

正会員	25 名
賛助会員	220 名
団体会員	2 団体

12. 物的サービスを受けたもののうち主なもの

- ・ 今年度はありません。

13. 次期指定管理取得（2024 年 4 月～2029 年 3 月）

- ・ 公募により 8 月申請書提出、10 月プレゼンテーション、12 月市議会議決により競合 1 社を押さえて指定管理者に選定され 2 期目となった。

14. 認定法人格更新取得（2024 年 1 月～2029 年 1 月）

- ・ 7 月更新申請書提出、12 月現地調査、2 月認定更新が許可された。

15. 追悼

- ・ 20 年近くに亘り副会長、会長、館長として多くの功績を残して下さった橋谷静子元会長・館長が 2023 年 4 月に逝去され、5 月に偲ぶ会を行った。多大なご貢献に感謝し心よりご冥福をお祈りいたします。
- ・ MASCA の会長、会計、Historian 等を歴任し、両市の交流を陰で支え続けてこられた相原八重さんが 2023 年 2 月に逝去され、4 月に Memorial Service が行われ ACA 代表として稲鍵 亜早子氏が参列した。
この場を借りて、改めてご冥福をお祈りいたします。

以上